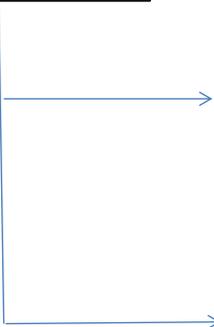


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	日中韓循環型社会プロジェクト推進費		<b>担当部局庁</b>	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度～		<b>担当課室</b>	循環型社会推進室		室長 河本 晃利		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	4.廃棄物リサイクル対策の推進 4-1 国内及び国際的な循環型社会の構築				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号)第三十一条・・・『国際的協調のための措置』		<b>関係する計画、 通知等</b>	循環型社会形成推進基本計画第5章『国の取組』第3節『海外との関係における資源循環』、3Rイニシアティブ				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	日中韓三カ国の循環型社会形成に向けた現状、課題、対策等について、各国の行政、企業、NGO、学識経験者間で情報共有を図ることにより、循環型社会形成に関する自国の政策や具体的な活動の一層の充実に繋げる。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM)のもと、日中韓三カ国の政府、自治体、企業、NGO等諸主体が循環型社会構築に関連して行っている取組につき相互理解を深めるため、三カ国持ち回りによる「日中韓三カ国3R/循環経済セミナー」を開催している。我が国の法体系、政策、各主体による優良取組事例等を三カ国間で共有できるように整理した情報を整備し、日中韓の行政担当者、学識経験者、企業の代表者らが参加する日中韓三カ国3R/循環経済セミナーで報告することにより、情報共有を行う。(平成24年度は、開催国の都合で25年4月実施。)							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	—	7	6	4	4	
		補正予算	—	0	0	0		
		繰越し等	—	0	0	0		
	計	—	7	6	4	4		
	執行額	—	0	0.7				
執行率(%)	—	0%	12%					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	三カ国の3Rや循環型社会形成に向けた現状や課題及び対策等について、各国の行政、企業、NGO、学識経験者間での情報や認識を共有することにより、3Rや循環型社会形成に関する自国の政策や具体的な活動の一層の充実に繋げることを目的とした、会議開催、検討業務のため、定量的な成果目標の設定が困難である。			%	—	—	—	—
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	循環経済セミナーの開催回数				—	1	—	2
<b>単位当たり コスト</b>	(円/ )		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	4	4					
	計	4	4					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	各国の行政官を中心に、企業、NGO、学識経験者間が参集し循環型社会形成に関する自国の政策や具体的な活動の一層の充実に繋げるため意見交換を図るものであるため、国が主体となって行う必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	不用率が大きかった理由として、中国によるセミナー開催延期により開催が4月となったため、年度内に執行できなかった。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年9月に北京(中国)にて第6回日中韓三カ国循環経済/3R/循環型社会セミナーが開催される予定だったが、中国側の都合により延期された。平成25年4月に北京(中国)にて第6回日中韓三カ国循環経済/3R/循環型社会セミナーが開催されたため、年度内の執行ができなかった。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	人件費等を見直し、事業をより効率的・効果的に実施することにより、予算額を縮減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	支出実績を勘案し、事業内容を精査するとともに人件費等を見直し、概算要求額を減額。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	新23-004	平成24年	105

環境省  
0.7百万円



【随意契約 印刷】  
A. (株)コムラ  
0.5百万円

サイドイベント展示物等印刷業務

【随意契約 印刷】  
B. (株)ダイワ  
0.2百万円

日本の廃棄物処理・リサイクル技術パンフレット(和文・英文)印刷

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コムラ	サイドイベント展示物等印刷業務	0.5	少額随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダイワ	日本の廃棄物処理・リサイクル技術パンフレット(和文・英文)印刷業務	0.2	少額随意契約	—